

目 次

序章 ワークシステム・サポートプログラムの概要

- 1 障害者職業総合センター職業センターにおける発達障害者に対する
支援プログラムの取組 3
- 2 WSSP の構成 3

第1章 開発の背景と概要

- 第1節 開発の背景 9
 - 1 地域障害者職業センター等への調査 9
 - 2 相談場面における発達障害の特徴に応じた対応 10
 - 3 支援者の相談スキル向上における課題 10
- 第2節 開発の概要 11
 - 1 本マニュアルのねらい 11
 - 2 本マニュアルの活用を想定する対象者 11

第2章 相談の過程と構成要素

- 第1節 相談の過程 15
- 第2節 【過程1】相談の準備 17
 - 1 信頼関係の構築 17
 - 2 相談の準備に必要なアセスメント 19
 - 3 アセスメント結果に応じた相談時の工夫 21
 - (1) 環境設定 21
 - (2) 言葉の意味や使い方等の認識合わせ 22
 - (3) 会話のペースや間（ま）の調整 22
 - 4 相談の組立 24
 - (1) TEACCH Autism Program の「ワークシステム」を参考
とした相談の構造化 24
- 事例** ワークシステムを参考にし、相談を組み立てた事例 29
- 第3節 【過程2】共通認識の形成 32
 - 1 共通認識の形成の目的 32

2 共通認識の形成のポイント	33
(1) 相談で取り上げる話題（テーマ）の選定	33
(2) 取り上げる話題の優先順位の確認	34
(3) 状況の確認と整理	34
(4) 課題に取り組む準備の確認	41
(5) 主体的な課題への取組に向けた関わり	42
第4節 【過程3】目標設定	44
1 SMART理論を参考とした目標設定	44
【事例】SMART理論を参考に本人にあわせた目標設定を行った事例	47
第5節 【過程4】取組結果の振り返り	49
1 取組を振り返るポイント	49
2 行動変容と振り返りによる気づきの循環	51
3 今後の展開の検討	52
 第3章 支援ツールの活用	
第1節 相談で活用できる支援ツール	57
1 本人にあわせた支援ツールの活用	57
2 目的に応じた支援ツールの選択	57
第2節 支援ツール活用整理表	58
第3節 支援ツール関連図	85
【特別寄稿】ソフトスキルを視覚化させるアセスメントツール	
明星大学人文学部福祉実践学科 縄岡 好晴 准教授	91
 第4章 支援者の相談スキルの振り返り	
第1節 支援者の自己理解	97
第2節 支援者の相談スキルのチェックリスト	100
【事例】「相談スキルのチェックリスト」を活用し支援の方向性を 検討した事例	106
 第5章 まとめ	115

巻末資料	117
------------	-----

付録

対応のヒント集	155
---------------	-----

●よくある相談場面でのヒント

- Case 1 話題が拡散しやすい
- Case 2 相談時間が超過する
- Case 3 話がかみあわない
- Case 4 本人のルールを尊重した妥協点を見いだしにくい
- Case 5 「はい」と返事をするが行動化されない

●相談スキル向上のためのヒント

- Case 6 話題にしにくいことを伝えるとき
- Case 7 本人の困っている原因が分かりづらいとき
- Case 8 支援者が責められているように感じるとき
- Case 9 本人が質問に対して沈黙しているとき